

経営比較分析表（令和5年度決算）

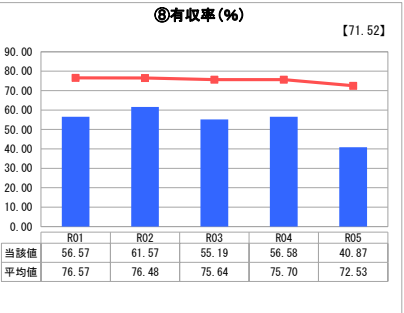
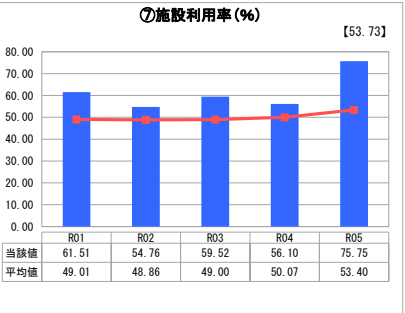
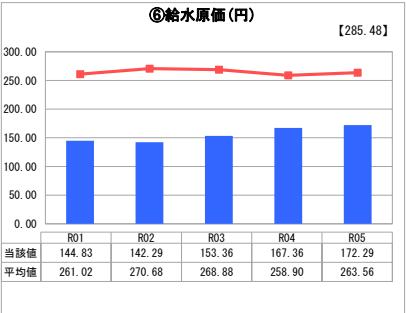
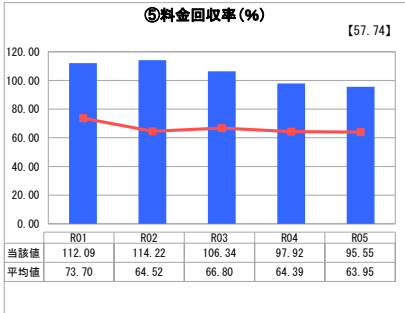
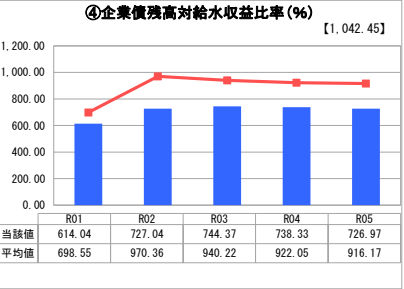
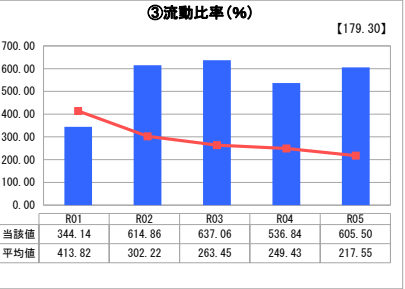
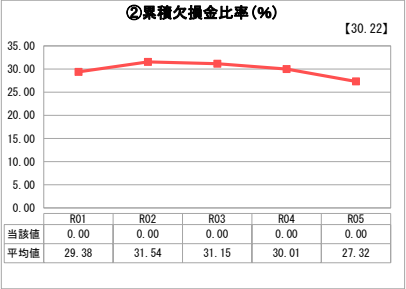
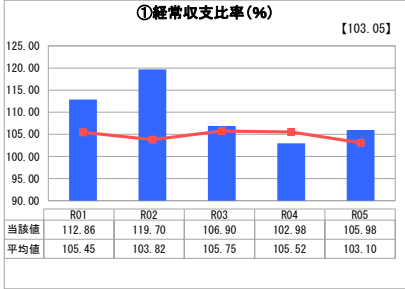
和歌山県 太地町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	58.65	100.00	2,910	

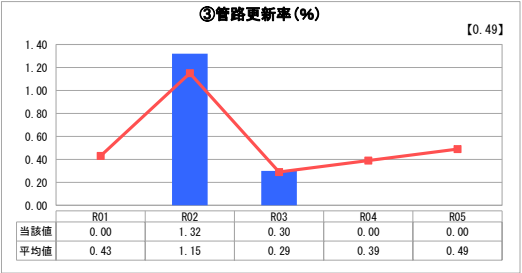
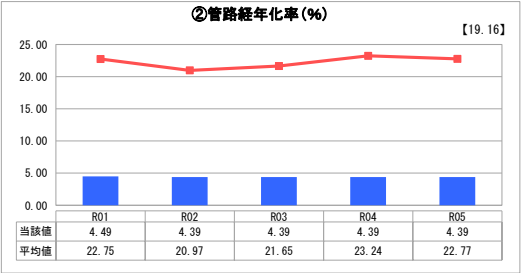
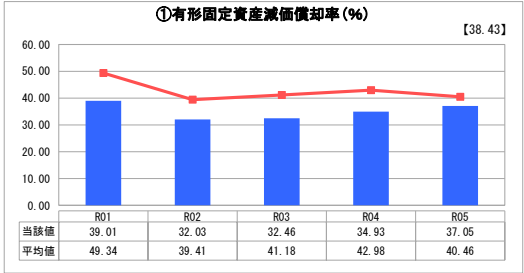
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
2,844	5.81	489.50
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
2,826	3.14	900.00

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①令和5年度においては、一般会計負担金が増額されたことにより経常収益が増加し、類似団体平均値を上回るところまで比率が回復した。ただし、給水費用が増加しており、一方で料金収入は減少しているため注意が必要である。

②累積欠損金は発生しておらず良好である。

③前年度と比較し、増加している。また100%を超過しており、良好である。

④類似団体平均値よりも低水準となっているが、水道施設の更新を計画しているため、今後の増加が見込まれる。

⑤料金回収率は、令和3年度まで100%超を保っていたが、令和4、5年度は電気料が高騰するなど、物価高の影響を受け給水費用が増額したため、100%を下回った。

⑥類似団体平均値を下回っており、費用効率は良好である。

⑦類似団体平均値を上回っており、比較的良好である。

⑧低水準で推移しており、漏水調査等を行って修繕を行っているが、思うように改善されていない。有収率が低水準で推移していることから、改善が必要であるが、他の項目については、良好である。

2. 老朽化の状況について

①過去において、水道施設の更新事業を継続して実施しており、類似団体平均値よりも低水準となっているが、今後上昇していくと見込んでいる。

②低水準を維持しているが、後は上昇していくと見込んでいる。

③令和5年度は配水管布設替を行っていない。①と②の指標について、後は増加傾向になると見込んでいるため、管路更新も含め、水道施設の更新事業を計画的に実施していく必要がある。

全体総括

事業については、比較的健康な経営を維持しているが、施設の老朽化が進んでいることから経営の更なる効率化に努めるとともに、水道施設更新を含めた設備投資を計画的に実施していく必要がある。